

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あぶれんどこくらきた		
○保護者評価実施期間	令和8年2月3日	～	令和8年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	74	(回答者数) 48
○従業者評価実施期間	令和8年2月3日	～	令和8年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職種による個別療育や集団療育。 双方の両輪による発達支援の実施。	日々の支援後に「うまくいった支援」 「うまくいかなかった支援」などを話し合 う時間を作っている。	話し合いの中に、「感じたこと」のみでは なく、科学的なエビデンスに基づく情報も 含めて支援内容を改善していく。
2	有資格者が多数在籍している為、支援会議 などでは、多職種間の情報交換や連携が取 れやすい。	個別支援計画書の作成に当たって更新毎に 専門職同士が集まり、意見交換を行っている。	個別支援計画書の更新以外にも、定期的に 話し合う時間と場を設けて、情報共有を密 に行っていく。
3	職員は自ら外部研修や講義を受け、自己研 鑽を行い、都度支援内容を変更している。	学会への入会や、SNS等を通して勉強会の 内容や日程の情報入手を行い、職員間で共 有している。	情報の入手先の幅を拡大することと、情報 を法人全体へ共有することで、組織全体の 支援の質向上を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園や幼稚園など、他の子どもと活動す る機会がない事。	個別療育を中心的な強みとして支援をして きた為、地域交流のする機会を設けていな かった。	協力が可能な保育園や幼稚園を模索し、地 域交流の幅を増やすことを検討していく。
2	保護者会などの開催はしていないこと	家族支援の実施はしていたが、家族間の交 流の場を設けることには注力していなかつ た。	家族同士においてお互いに、支援に関する 意見や悩みを打ち明ける重要性を考慮し、 保護者会の開催等を検討していく。
3	情報発信にSNS等を活用していないこと	SNSを通したトラブルが起きないように、 今まで活用していなかった。	事業所内で会議を行い、必要性やトラブル が起きないように準備をしたうえで、可能 な範囲で、SNSの使用を検討する。